

令和元年度生野区の取組み 中間振り返り (全 編)

令和元年度生野区区政会議
第2回全体会



令和元年12月20日(金)



目 次

・ 生野区将来ビジョン 2018-2021	5
-----------------------	---

くらしの安全・安心部会関連

・ 安全・安心を身近に感じて暮らせるまち への課題	6
・ 令和元年度 主な取組	7
・ (1 - 1) 地域自主防災力の強化	8
・ (1 - 2) 災害発生時の的確な対応	10
・ (1 - 3) 空き家等や老朽住宅への対策	12
・ (2 - 1) 犯罪の防止	15
・ (2 - 2) 事故の防止	17
・ (3 - 1) すべての世代の健康づくり	19
・ (3 - 2) 身近な見守り・支えあい	22
・ (3 - 3) 「地域包括ケアシステム」の構築に向けた体制の整備	26
・ (4 - 1) 真に支援が必要な方への確実な対応	29
・ (4 - 2) 貧困の連鎖を断ち切るための支援	32
・ (5 - 1) 人々の人権を互いに尊重し認め合える環境づくり	36
・ (5 - 2) 外国籍住民とのコミュニケーション媒体の活用・地域住民との交流促進	38

目 次

こどもの未来部会関連

・子育てにやさしく教育につよいまち への課題	41
・令和元年度 主な取組	42
・（１－１）子育てが楽しくなるまちづくり	43
・（２－１）次世代の学校づくり(学校配置の見直し)	45
・（２－２）次世代の学校づくり(「生野の教育」の実現)	49
・（２－３）次世代の学校づくり(学校・教育コミュニティ支援)	56
・（２－４）「ニア・イズ・ベター」に基づく分権型教育行政の効果的な推進	57
・（３）まちの教育力を上げる	58

まちの未来部会関連

・いとり豊かな魅力のあるまち への課題	61
・令和元年度 主な取組	62
・（１－１）ものづくりの伝統を守り、受け継がれるための支援	63
・（１－２）空き家の利活用による新たな魅力づくり	65
・（２－１）「生野の魅力」の発掘・浸透	67

目 次

まちの未来部会関連（つづき）

・（２－２）区民のわがまち意識を育てる	70
・（３－１）地域活動協議会（まち協）の支援について	72
・（３－２）地域活動協議会（まち協）の自律運営促進について	74

*【業績目標】のP9、P11、P13、P39、P65、P70の割合は、「区政に関する区民アンケート」結果による。

生野区将来ビジョン 2018-2021

誰にも「居場所」と「持ち場」があり
「持ち場」が「つながって」いくまち をめざして

未来志向のまちづくり

安全・安心を身近に感じて暮らせるまち

しっかりしたセーフティネットのもと、ひとりも取りこぼされることなく、
みんながお互いに思いやり支えあい助けあえるまち

子育てにやさしく教育につよいまち

安心して子育てができる環境のもと、未来あるこどもがたちがいきいきと
学び成長していくまち

いろどり豊かな魅力のあるまち

たくさんの方が訪れ、住んで、住み続けたいと思えるような、いろんな世代
にとって住みやすく多彩な魅力のあるまち

安全・安心を身近に感じて暮らせるまち への課題

～ 「平成31年度 生野区運営方針」より一部抜粋

安全・安心

防災・防犯

- 災害時に機能する**自主防災体制を強化**するための支援が必要。
- 土地建物所有者による**自主建替**に向けた地域主体の取組への支援が必要。
- **空家の所有者へ適正管理**を求めるとともに、空家発生防止の周知が必要。
- **街頭犯罪の抑止**に向けた取組を地域住民と連携して進めるとともに、地域防犯の人的基盤を補完するために防犯カメラ等の活用が必要。
- **特殊詐欺**にあいやすい高齢者への周知・啓発が必要。
- 警察と連携し、**自転車の安全で適正な利用**の周知・啓発が必要。

福祉・人権・多文化

- 各種**健(検)診の重要性**の啓発とともに、健康への関心を高める周知が必要。
- **真に支援が必要な人々**に対して**確実に支援が届く**仕組みづくりが必要。
- 公的な福祉サービスだけでは解決できない地域の多様な課題に対して、地域の**担い手の育成やネットワークづくり**等、持続可能な仕組みが必要。
- 各種**人権課題**への理解を深め、偏見や差別をなくす取組が必要。
- 在日韓国・朝鮮人をはじめ、近年増加するニューカマーを含めた**すべての外国籍住民**への必要な情報提供、**多文化への理解・啓発の推進やコミュニティづくり**への支援が必要。

令和元年度
主な取組

安全・安心

災害に備えて

地域自主防災力の強化・災害発生時の的確な対応・空家等や老朽住宅への対策

犯罪・事故の防止に向けて

犯罪の防止・事故の防止

ずっと安心して暮らせる環境づくり

すべての世代の健康づくり

地域における要援護者見守りネットワーク事業
生野区における地域福祉交通の導入に向けた支援事業
地域包括ケアシステムの構築に向けた体制の整備

ひとりもとりこぼさない支援を

真に支援が必要な方への確実な対応

貧困の連鎖を断ち切るための支援 ～貧困の連鎖をくいとめるために～

すべての人々の人権を互いに尊重し認め合える環境づくり

人々の多様性を尊重し、認めあえる環境づくり

外国籍住民とのコミュニケーション媒体の活用・地域住民との交流促進

(1 - 1) 地域自主防災力の強化

区予算額 2,222千円

取組の進捗状況

地域住民の日頃から、減災に向けた**地域自主防災活動の支援**のための取組を実施

- ・ 地域防災訓練の支援 13地域(10月末時点)
- ・ 地域防災マップ作成支援
2地域 (年度末見込み)
- ・ 地域防災リーダー研修会 4回 (10月末時点)
- ・ 多言語Web版防災・水害ハザードマップ
(随時更新)
- ・ 防災の基本である自助 (家具転倒防止対策等)
の啓発 (通年)



地域防災リーダー研修会

特報 生野区役所発! **WEB** 防災マップ **遂に始動**

マップを見て大興奮の区役所防災担当 はまちゃん

どこがエエところ!

★6か国語に対応!
(日本語、English、中文(簡体字)、
中文(繁体字)、한글、Tiếng việt)

★カンタン操作で近くの避難所の場所がわかる!

★自宅を中心にしたマップが印刷できる!

★地震、水害など被害想定がひとめでわかる!

★その他、データ更新やコンテンツ追加など
WEBならではの発展性! などなど

アクセス方法は簡単!
QRコードをスキャン
または
生野区HP
で検索



(1 - 1) 地域自主防災力の強化

【業績目標】

- ・地域住民が、減災に向けた自助・共助の防災対策の必要を感じ、日頃からの取組み活動が重要と感じている割合が90%以上 *

課題など

- ・災害時に機能する**自主防災組織体制を強化するための支援**が必要
- ・さまざまな環境で生活している地域住民の為に、個々の状況に応じた安全対策が必要であり、特に**要支援者（高齢者、障がい者等）に対する防災体制をより一層充実させる**必要がある。

【今後の方向性】

災害発生時、各小学校区など、地域において開設される地域災害対策本部の中心として、地域住民が主体的に安否確認や初期消火など「共助」による防災活動が展開される仕組みを地域の皆さんとともに構築してきた。今後は昨年のおおさか北部地震および台風21号災害などでの経験並びに課題の認識を踏まえ、**高齢者や障がい者などの要支援者の安全での確、かつ速やかな避難への支援**をはじめ円滑な避難支援の構築に取り組む。

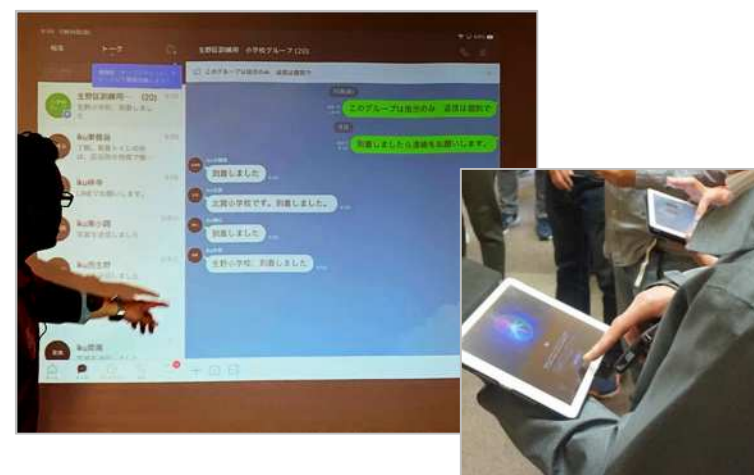
(1 - 2) 災害発生時の的確な対応

取組の進捗状況

区予算額 1,789千円

区内関係機関および地域との連携強化のための取組を実施

- ・ 地区防災計画の勉強会：52回（10月末時点）
- ・ 災害時避難所・福祉避難所への資器材等の配備の充実：通年
- ・ 生野区全職員災害対応訓練（11月10日実施）
- ・ 災害時避難所や関係機関との通信網の整備：通年（区政推進基金でiPadを配備）
- ・ 区医師会、区歯科医師会、区薬剤師会との災害時医療救護体制の整備に向けた関係機関会議開催：通年
- ・ 行政機関の連携による災害時想定訓練：1回（12月3日実施）



安全
安心

(1 - 2) 災害発生時の的確な対応

【業績目標】

市民防災マニュアル、区や地域の防災マップ、水害ハザードマップ、地域防災計画などのマニュアルや計画が作成されていることを知っている区民の割合：65%以上*

課題など

- ・災害時に必要な情報提供や情報収集が行えなかった。
- ・避難所開設のタイミングや避難所開設情報をスムーズに広く区民伝達できる方法を検討。

【今後の方向性】

- ・災害時における効果的な情報発信方法及び情報の多言語化
- ・避難所や関係機関との通信網の整備
- ・災害時避難所・福祉避難所への資器材等の配備の充実
- ・区医師会、区歯科医師会、区薬剤師会との災害時医療救護体制の整備

(1 - 3) 空き家等や老朽住宅への対策

取組の進捗状況

区予算額 541千円

大阪市空き家等対策計画に基づき、区民からの相談に対応するとともに、空き家所有者等への適切な維持管理や相続等による**権利関係の重要性を周知**することにより、特定空き家等の是正に努める。

- ・ 地域による老朽住宅や空き家の建替え・利活用の促進、新たに空き家を生み出さないための**セミナー等の開催**（随時）
- ・ 建替えのアイデア集「建替えのすゝめ」の区HP等での周知（通年）
- ・ 区民から特定空き家等の通報を受け付けて得られた**空き家情報のデータベース化**、所管局と情報共有・連携対応（随時）
- ・ 各専門家団体や住まい情報センター、大阪の住まい活性化フォーラムの相談窓口一覧や各種制度の案内チラシの配架（通年）
- ・ 特定空き家等に関する通報等に対する受付、現地確認、所有者調査や助言・指導等の実施（随時）

(1 - 3) 空き家等や老朽住宅への対策

【業績目標】

- ・ 周辺の特定期空家等に不安を感じている区民の割合：8%以下＊
- ・ 特定期空家等の解体や補修等による是正件数：20件以上

課題など

- ・ 区内には戦災を免れた地域が多く、長屋建ての家屋が多く残っている。また、住民の高齢化や、土地建物の権利関係が複雑なことから、**所有者による自主的な建替が十分に進んでおらず**、老朽危険家屋や特定期空家等の増加に繋がっていると考えられる。
- ・ 土地建物所有者による自主的な建替が進むよう、地域が主体となった課題解決に向けた取り組みを支援していく必要がある。
- ・ 空家の所有者へ適正管理を求めるとともに、空家が発生しないよう**権利関係の重要性などについて空家所有者に周知**する必要がある。

(1 - 3) 空き家等や老朽住宅への対策

【今後の方向性】

昨年度は大阪北部地震や台風の影響で通報件数が増えたが、今年度も着実に対策を進めていく。

年 度	通報件数	是正件数
平成30年度	97件	53件
令和元年度(10月末時点)	31件	31件



<セミナー>



<建替えのすゝめ>

(2 - 1) 犯罪の防止

取組の進捗状況

区予算額 5,381千円

街頭犯罪防止への取組みを進めるとともに、特殊詐欺被害にあいやすい高齢者への周知・啓発に取り組んできた。

生野区全域一斉パトロールの実施（10月11日実施）

地域安全防犯カメラ設置事業 20箇所（3月までに設置予定）

小学生を対象とした防犯標語啓発「ガチメン」の実施

23回（10月末時点）

地域安全センター等での防犯出前講座 3回（10月末時点）



防犯標語啓発「ガチメン」



生野区全域一斉パトロール

(2 - 1) 犯罪の防止

【業績目標】

- ・ 各事業（ ～ ）参加者アンケート：満足度 8 0 % 以上

課題など

- ・ 街頭犯罪の抑止に向けた取組を地域住民と連携して進めるとともに、地域防犯の人的基盤を補完するために防犯カメラ等の活用が必要。
- ・ 特殊詐欺被害にあいやすい高齢者への周知・啓発が必要。

【今後の方向性】

- ・ 防犯カメラの設置による犯罪抑止効果もあり、犯罪発生件数は減少傾向にあることから、**継続的に防犯カメラを設置していく。**
- ・ 地域安全センター等で**特殊詐欺などの防犯出前講座の実施**



(2 - 2) 事故の防止

取組の進捗状況

区予算額 5,202千円

交通事故のうち**自転車による事故が多い**地域特性を踏まえ、警察、地域団体と連携して、**自転車の安全かつ適正な利用を周知、啓発**していく。

警察、地域団体等と協働した街頭啓発 6回（10月末時点）
小学校等と連携した交通安全教室の開催 26回（10月末時点）
駅周辺、商店街等での啓発広報の強化：通年



《駅周辺での交通安全啓発》



《交通安全教室》



《自転車マナーアップ
キャンペーン》

(2 - 2) 事故の防止

【業績目標】

- ・ 各事業 (～) ごとの参加者アンケート：満足度 9 0 % 以上

課題など

交通事故のうち自転車による事故が多い
地域特性を踏まえ、**自転車の安全かつ適正
な利用を周知、啓発**していく必要がある。

【今後の方向性】

引き続き、警察、地域団体等と連携して
情報発信を強化する。



(3 - 1) すべての世代の健康づくり

取組の進捗状況

区予算額 943千円

- ・生活習慣病予防、介護予防活動の推進や啓発、**健診の重要性を理解するための情報や健診情報（受診日程・実施医療機関等）の提供を積極的に行う。**

- 生活習慣病予防、介護予防の取り組み（随時）
 - ・地域における住民主体の介護予防事業「いきいき百歳体操」の実施
 - ・地域健康講座等における血管年齢測定、高齢者体力測定などの啓発事業の実施



(3 - 1) すべての世代の健康づくり

安全
安心

● 各種検診の受診勧奨

- ・ 「がん撲滅戦隊いくみんレンジャー」を活用したHP等での受診啓発
- ・ がん検診受診促進協定締結団体や区内金融機関、郵便局、駅と連携し、がん検診受診勧奨のポスター掲示やチラシ配布（通年）
- ・ 就学関係書類送付時にがん検診受診勧奨ビラを同封し受診啓発
- ・ 前年度受診者に対し、郵送による受診勧奨（6月・11月実施）
- ・ 広報いくの10月号でがん検診特集記事掲載



あなたは毎年受けていますか？

2人に1人が「がん」になると言われています。そして、生野区では、4人に1人が、がんで亡くなっています。でも、早期発見できれば、ほぼ9割が完治する病気です！

まずは、がん細胞の特性を知ろう！

「発見チャンスは1～2年！」

がんは、1cmにならないと発見できません。1つのがん細胞が1cmになるには、10年～15年かかりますが、1cmのがんが2cmになるのはたったの1年半程度です。2cmまでの早期がんを発見するチャンスは1～2年しかないんです！

10～15年 発見可能 1～2年

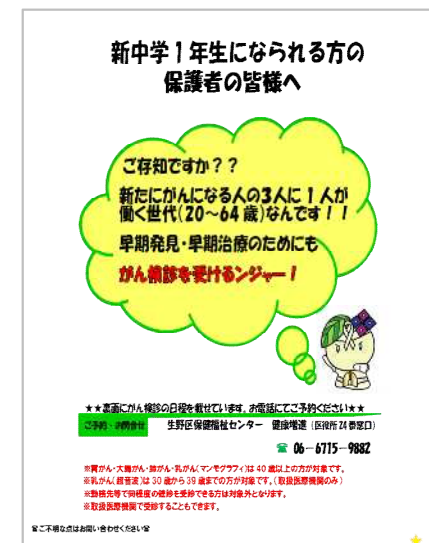
1cm未満 1cm 2cm

早期発見のメリット！

- その1 治療の選択肢が増える！
- その2 治療期間が短くなる！
- その3 手術や投薬による体への負担が少ない！

数年前に検診でがんが見つかったのですが、早期発見だったので体の負担が少ない治療で済みました。おかげで毎朝、小学生の登校の見守り活動を元気にやれています。

東中川地域まちづくり協議会 泉澤 順さん



新中学1年生になられる方の保護者の皆様へ

ご存知ですか？
新たにかんになる人の3人に1人が
働く世代(20～64歳)なんです！！
早期発見・早期治療のためにも
がん検診を受けるンジャー！

★★書面にがん検診の日割を載せています。お電話にてご予約ください★★

生野区保健福祉センター 健康増進（旧役所24番窓口）
☎ 06-6715-9832

※胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん・子宮がんは40歳以上の方が対象です。
※乳がん・子宮がんは30歳から39歳までの方が対象です。（乳がん検診無料のみ）
※動脈硬化等で同程度の検診も受診できる方は対象外となります。
※取組活動期間で受診することできます。

※ご不明な点はお問い合わせください

(3 - 1) すべての世代の健康づくり

【業績目標】

- ・ 生野区保健福祉センターで実施する
がん検診の受診者数 : 2,300人以上

課題など

- ・ 普段からがん検診受診に対する意識が低い人が多く、またがんや検診に対する正しい知識を持っていない人も多い。
- ・ がん検診を受けたことがあったとしても、継続的な検診に結びついている人は少ない。

【今後の方向性】

- ・ 引き続き検診の重要性やがんの正しい知識を広く区民に情報発信していく。
- ・ 引き続き文書での個別勧奨を行い、継続的な受診につなげていく。

(3 - 2) 身近な見守り・支えあい

取組の進捗状況

(1) 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

区CM（福祉局）予算額 24,911千円

- ・ 地域における要援護者の把握・名簿登録および孤立世帯への専門的支援、認知症徘徊時の見守りネットワーク

（件数は全て10月末時点）

見守り相談室による要援護者名簿にかかる同意確認・名簿整理

→ **同意件数474件 / 不同意件数100件**（同意率：82.6%）

CSWによる孤立世帯等への専門的対応

→ **相談対応累計実績 1,413件**（前年度同月比＋151件）

「認知症高齢者見守りネットワーク」による徘徊者保護の強化

→ **見守りメール 協力者181名 / 登録者263名**

(3 - 2) 身近な見守り・支えあい

(2) 『ご近“助”パワフルサポート事業』

区予算額 14,361千円

- ・ 高齢者の孤立死の防止、地域の見守り機能の充実、高齢者や障がい者等への日常生活の困りごとに対する支援など、行政の画一的な制度だけでは対応しきれない課題を持ち、支援を必要とする人に対し、**福祉コーディネーターが地域ボランティアとのマッチング（連携）を支援する**

相談受付件数	1,071件（4月～10月）
ボランティアとの連携件数	393件（4月～10月）

【業績目標】

ボランティアのマッチング支援を受けた区民のうち、十分な支援を受けることができたと感じる利用者の割合：90%以上

(3 - 2) 身近な見守り・支えあい

課題など

- ・ 全地域に要援護者名簿を整備、配付したものの、**日頃の見守り活動への活用が進んでいない**
- ・ 身近な相談先である、福祉コーディネーターの**認知度が低い**
- ・ 福祉コーディネーターによる支援が、**個別支援に偏りがち**

【今後の方向性】

- ・ 福祉コーディネーター連絡会等の機会を通じて、**要援護者名簿の活用事例を紹介し、地域における日頃の見守り活動への活用につなげる**
- ・ **福祉コーディネーターの認知度を高める**ため、様々な世代が利用できる制度について、ポスター等の紙媒体やSNSを活用して周知



(3 - 2) 身近な見守り・支えあい

- ・各地域で行われている、福祉コーディネーター（Ｃｏ）が企画した新たな活動情報を共有し、生野区社会福祉協議会による支援のもと、福祉Ｃｏによる地域ニーズに応じた福祉活動を拡げていく

勝山地域の宿題デーは、地域の子どもたちが新学期に元気に学校に行けるように、プール学園の学生と小学校、地域とのコラボで成功した事例です。



生野地区会館開放デーも裏方で支えていたのは福祉Ｃｏです。
福祉Ｃｏが「つなぐ、活動を支える、何かあった時に間に入ってくれる。」から地域活動が続けられます。

安全・安心

(3 - 3) 「地域包括ケアシステム」の構築に向けた体制の整備

区予算額 一千円

取組の進捗状況

- 医療・介護の専門職による、**在宅医療・介護連携を推進**
(在宅支援ネットワーク会議等)
- 多職種連携による**認知症に関する普及啓発や事例検証等の対応力向上**
(認知症高齢者支援ネットワーク会議等→在宅支援ネットワーク会議と同時開催)
 - 在宅支援ネットワーク会議・認知症高齢者支援ネットワーク会議
4 回開催 (4 月、5 月、7 月、10 月)
 - 在宅支援・認知症ワールドカフェ 1 回開催
(6 月 1 8 日開催) 参加者 58 名
 - 事例検討会 (9 月 1 7 日開催)
 - ACP (アドバンス・ケア・プラン) 多職種研修
(12 月 17 日開催予定)
 - 認知症・在宅医療シンポジウム (3 月開催予定)



昨年度シンポジウム

(3 - 3) 「地域包括ケアシステム」の構築に向けた体制の整備

安全
安心

- 介護予防・生活支援サービス事業の充実、円滑な運用に向けた取組
→ **生活援助サービス従事者研修**を生野区で開催
(1 月 2 3 日、 2 4 日開講予定)
- 高齢者の自立支援、重度化防止に向けた取り組み
→ **自立支援型ケアマネジメント会議**
(毎月1回開催)



【業績目標】

- ・ 認知症・在宅医療シンポジウムにおいて、
「期待どおりだった、満足した」などの肯定的な意見の割合が
80%以上

(3 - 3) 「地域包括ケアシステム」の構築に向けた体制の整備

課題など

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援**が一体的に提供される

「地域包括ケアシステム」
の構築が必要。

【今後の方向性】

介護予防・生活支援サービスや、
地域包括支援センターについて
市民への普及・啓発をさらに進める。



(4 - 1) 真に支援が必要な方への確実な対応

区予算額 一千円

取組の進捗状況

- **複合的な課題を持つ困難事例への対応**
各関係機関が一堂に集まり支援方法を検討
「総合的な支援調整の場（つながる場）」を開催（3回）
- **虐待防止に向けた啓発や、関係機関・各種支援専門機関との連携を強化**
「要保護児童対策地域協議会」： 8 回
「虐待防止研修会（児童）」： 2回
- **「くらしの相談窓口いくの」による各種相談・就労支援**
- **生活困窮者の早期発見と支援体制の検討**
支援につながっていない方をつなげるための会議
支援会議の開催
(生困シェア会議 6月27日、生活困窮者支援会議 8月1日)



(4 - 1) 真に支援が必要な方への確実な対応

安全・安心

- 里親制度の普及啓発(区広報紙への掲載等)
→ さとおや講演会&パネルディスカッション
(7月30日開催 78名参加)



- **こどもサポートネット事業**
学校と区役所が連携し、こどもと子育て世代が抱える
課題に対して総合的支援を効果的に行う。
こどもの貧困対策関連の取組



【業績目標】

児童虐待や高齢者虐待などの専門家、支援機関、学校や保育園が参加したワークショップ（連絡会）アンケート結果で、肯定的な意見が75%以上

(4 - 1) 真に支援が必要な方への確実な対応

課題など

少子高齢化、核家族化が進む中、高齢者、障がい者、こども、ひとり親家庭、生活困窮者など支援が必要な方に必要なサービスが確実に届く、取りこぼしのない支援が求められている。



【今後の方向性】

支援を必要とするすべての人々が、一人ひとり社会とつながりを持ちながら健やかに暮らせることができるよう取り組んでいく。

(4 - 2) 貧困の連鎖を断ち切るための支援

こども未来部会関連：(2-2)次世代の学校づくり（「生野の教育」の実現）と同取組

取組の進捗状況

区予算額 5,283千円

● 生きるチカラを育む課外授業「みらい塾」

こどもの貧困対策関連の取組

当該中学校に在籍する生徒（学年は問わないとする）を対象に、民間事業者等を活用した大学生等による悩み相談と課外授業を行うことで、**基礎学力の向上と自己肯定感の醸成**をはかり、「**自ら学ぶ力**」の定着をめざす。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ・ 大池中学校 （毎週月・木曜日） | 英語・数学・国語 |
| ・ 東生野中学校（毎週火・金曜日） | 18 30～19 40 |
| ・ 田島中学校 （毎週火・金曜日） | 19 45～20 55 |
| ・ 新生野中学校（毎週火・木曜日） | 時間帯の と はどちらかを選択 |



安全
安心

(4 - 2) 貧困の連鎖を断ち切るための支援

【業績目標】

参加者に対し、事業実施前と後にアンケートを行い、「1日にどれくらいの時間、家庭学習をしていますか」という設問について、「30分より少ない」「全くしない」と答える生徒を半減させる。

課題など

- ・「自ら学ぶ力」の定着、基礎学力の向上が必要。

【今後の方向性】

学習習慣を定着させるため、「勉強できる環境」を整えていく。

また、単に学習の指導をするだけでなく、生徒の日常や進路の悩み等の相談を受けながら、その生徒にあった指導を行うよう、塾事業者と連携しながら、「自ら学ぶ力」が身に付くよう取り組みを進める。

(4 - 2) 貧困の連鎖を断ち切るための支援

こども未来部会関連：(2-2)次世代の学校づくり（「生野の教育」の実現）と同取組

取組の進捗状況

区予算額 1,982千円

● 生きるチカラまなびサポート事業 こどもの貧困対策関連の取組

「キャリア教育」や「性・生教育」を支援する「生きるチカラまなびサポーター」の登録制度を構築し、学校の要請に応じて講師を派遣する。

- ・登録講師 17名（10月末時点）
- ・小学校での実施 3回（2学期）
- ・中学校での実施 5回（1学期、2学期）
- ・教職員対象の講演会 1回（6月24日開催・43名参加）
- ・アドバイザー会議 2回
- ・今後の実施予定 12校17回（年度末）



【プログラミング授業】



【教職員対象の講演会】

1 / 2

安全
安心

(4 - 2) 貧困の連鎖を断ち切るための支援

【業績目標】

- ・ 事業終了時のアンケートにて、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という設問について否定的な回答をした受講者の割合：8.0%未満

課題など

多様な経験をとoshi、児童生徒が自分の将来を前向きに考える環境づくりを促進できるよう、さらに取組の拡がりをめざす必要がある。

【今後の方向性】

・ 登録講師の確保

アドバイザーと学校から得た講師情報の共有化を図り、幅広い人材確保に努める。

・ 各学校での取組の拡がりをめざす

登録講師数を増やし、より学校のニーズに応えられるようにする。また、定期的に周知する。



(5 - 1) 人々の人権を互いに尊重し認め合える環境づくり

取組の進捗状況

区予算額 1,384千円

人権啓発推進員と連携して、高齢者や障がい者、外国籍住民などの**様々な人権課題への理解を深める**取組みを進める。

地域人権講座の開催 3回(10月末時点)

人権啓発事業(人権週間講演&映画)の開催 1回(12月8日開催予定)

人権啓発事業(子ども向け映画会)の開催 1回(10月末時点)

広報誌「ふれ愛」の発行(3月発行予定)



地域人権講座



広報紙「ふれ愛」

(5 - 1) 人々の人権を互いに尊重し認め合える環境づくり

【業績目標】

各事業（ ～ ）の参加者アンケート：理解度 9 0 % 以上

課題など

多様な人権課題の理解促進のために、各種講座を提供しているが、**参加が低調な講座もある。**

【今後の方向性】

引き続き、人権啓発推進員と連携し、区民に人権課題の理解を深めていただくための取組みを進める。また、より多くの方に講座に参加していただけるよう、多様な広報・周知媒体で情報発信を行う。

(5 - 2) 外国籍住民とのコミュニケーション媒体の活用・地域住民との交流促進

安全・安心

区予算額 一千円

取組の進捗状況

- ・ 防災や基本生活情報の「やさしい日本語」による情報発信（通年）
- ・ 区内日本語学校、外国人コミュニティとの連携強化(通年)
 - 行政資料の多言語による翻訳協力等
- ・ 当事者・支援者による自立的な取組みへの支援
 - 多文化共生フォーラム（6月30日開催）
 - 多文化共生セミナー（11月18日開催）
- ・ 豊かなコミュニティのプラットフォームづくりに向けた支援
 - 区民まつり多文化共生ブース「多文化カフェ」(10月20日開催)
 - 「やさしい日本語」協力店舗・協力者募集(通年)
 - 「やさしい日本語」缶バッジ・ステッカーの配布(通年)



1 / 2

(5 - 2) 外国籍住民とのコミュニケーション媒体の活用・地域住民との交流促進

【業績目標】

区役所による情報発信が外国人に対しても配慮されていると回答した区民の割合：令和元年度までに30%以上*

課題など

外国籍住民のための防災情報や生活情報が必ずしも十分に伝達できておらず、また、外国籍住民が地域住民の一員として地域コミュニティに参加できる機会が少ないため、引き続き、取組が必要

【今後の方向性】

在日韓国・朝鮮人をはじめとして、区内60カ国を超える外国人が地域住民の一員として安心して暮らせるためのコミュニティづくりを引き続き支援

- ・ 多文化共生に向けた話し合いの場づくりの支援
- ・ 「やさしい日本語」を介したコミュニティづくり 等

安全
安心

